



CCP Express 3.3 IPv6 PPPoEの設定ガイド

※本資料は2017/02現在のハードウェア/ソフトウェアにおけるガイドです

はじめに

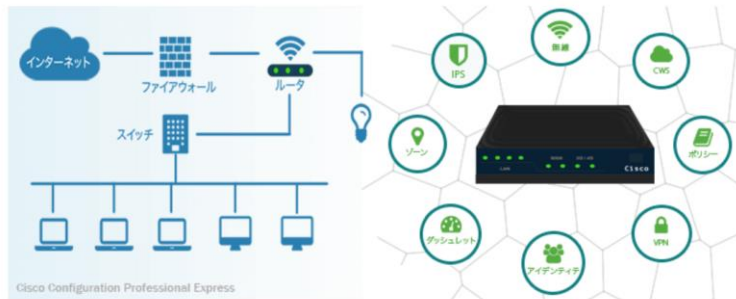
サービスプロバイダからIPv6とPPPoEを指定された際にこのドキュメントを利用してください

IPv6 PPPoE設定方法

インターフェイスの設定-1

CCP Express3.3の クイックセットアップウィザードを選択

新しいデバイスとして検出されます。すばやく設定を行うには、クイックセットアップウィザードをクリックします。高度な機能を使用する場合は、詳細セットアップを使用してください。



クイックセットアップウィザード

このウィザードはステップバイステップで設定を行います。ほとんどのユーザに推奨される設定方法です。



詳細セットアップ

すべての設定可能な機能が使えます。高度な機能を使うための正しい機能と順序を選択して設定できます。

IPv6 PPPoE設定方法

「始めましょう」を選択

クイックセットアップウィザードへようこそ

始める前に:

- サービスプロバイダーから設定に必要なすべての情報を取得していることを確認してください。 [チェックリストはこちらをクリックしてください](#)
- 3G/4G以外のWAN接続を設定する場合、サービスプロバイダーとの物理的な接続が適切であることを確認してください。
- 3G/4GのWAN接続を設定する場合、SIMカードがルータのスロットに適切に挿入されていることを確認してください。
- ウィザードにより、デフォルトでいくつか推奨設定が有効になります。特に理由がない限り、設定を変更しないでください。
- このウィザードでは、WAN/LAN接続を設定します。ウィザードによる設定後、必要に応じて設定の変更や詳細な機能の追加ができます。
- ベストプラクティス: CCP Expressによる設定時は、デバイスに直接ログインして設定の変更や削除をしないでください。設定に問題が生じることがあります。
- 重要:初期設定状態ではないルータに対してクイックセットアップウィザードを使用すると設定問題が生じることがあるため推奨しません。



始めましょう

IPv6 PPPoE設定方法

基本設定

ルータ名：任意

ドメインネーム：指定がなければ架空のもの

タイムゾーン（GTM+09:00）

クイックセットアップウィザード



基本



プライマリWAN

基本設定

ルータ名 *:	Honsha
ドメインネーム *:	cisco.com
タイムゾーン *:	(GMT+09:00)大阪、札幌、東京

NTPサーバと同期する

このルータをNTPマスターにする

すべてのデバイス(DHCPクライアント)はルータと時刻が同期されます

IPv6 PPPoE設定方法

WAN接続タイプ：イーサネット（直接/PPPoE）
インターフェイス：WANインターフェイスを選択

DNS/IPアドレス欄
サービスプロバイダーの指定のもの

WANの設定

WAN接続タイプ * : イーサネット (直接/PPPOE)
インターフェイス * : GigabitEthernet0/4

DNS/IPアドレス

DNS:

ISPから直接DNSサーバ情報を取得する

IPv4:

ISPから自動的に取得する

NATを有効にする

IPv6:

IPv6を有効にする

IPv6 PPPoE設定方法

PPPoEを有効にする にチェック

IPv4接続と認証 は入力しない

PPPoEを有効にする

IPv4 接続と認証 [詳細設定の表示](#)

タイプ: PAP CHAP

ユーザ名:

パスワード:

パスワードの確認:

IPCP DNS有効にする

IPv6 接続と認証 [詳細設定の表示](#)

Type: PAP CHAP

ユーザ名:

パスワード:

パスワードの確認:

IPCP DNS有効にする

IPv6 PPPoE設定方法

サービスプロバイダーの指定があるとおりに入力する

詳細設定の表示を選択
×次へは選択しない

IPv6 接続と認証

Type: PAP CHAP

ユーザ名 *: 123456@abc.ne.jp

パスワード *: ●●●●

パスワードの確認 *: ●●●●

IPCP DNS有効にする

[詳細設定の表示](#)

IPv6 PPPoE設定方法

サービスプロバイダーの設定マニュアルに記載されている値を入力
記載がない場合はこの値で問題ないか確認して下さい

MTUサイズ

MSSサイズ

IPCP DNS有効にする

MTUサイズ *:	1454
MSSサイズ *:	1356

以降はLANの設定になりますので別途セットアップガイドをご確認ください

